

や す ら ぎ 通 信

第 119 号（令和 2 年 10 月 1 日） 発行：大阪急性期・総合医療センター

神無月（かなづき）



撮影地：鶴見緑地に咲くガーベラ

<目次>

以心伝心～リレーエッセー～	・・・P. 1
今月・来月の催し	・・・P. 2
管理栄養士のコーナー	・・・P. 3
今月のきらりさん	・・・P. 4
NEWS	・・・P. 5

掲示板	・・・P. 6
今月の風景	・・・P. 11
編集部局より	・・・P. 11
カレンダー	・・・P. 12

ふるさと

京都府宮津市で生まれ、高校卒業の18歳から医療機関で事務として働き、今年で60歳を向かえ、ふと田舎を思い出してみると、『天橋立』は、陸奥の『松島』・安芸の『宮島』とともに、日本三景とされている特別名勝のひとつで、幅は約20～170m・全長約3.6kmの砂嘴(さし)でできた砂浜で、約5000本もの松が茂っている珍しい地形で、その形が、天に架かる橋のように見えることから『天橋立』の名が付けました。

その何千年もの歳月をかけて自然がつくりだした神秘の造形を見ようと、たくさんの方が訪れます。

天橋立を楽しむには展望所からの眺めはもちろん、天橋立の中を歩いたり、自転車や船に乗ったり、海水浴場で泳いだりと自然を感じていただける楽しみ方も人気です。

また、大江山は丹後・丹波の国境にそびえる当地方きっての名山で、大江山を記した古書も数多くあり、『丹後国風土記残缺』、『西北紀行』(貝原益軒)、『秋山の記』(上田秋成)などが代表的なものです。

こういった古書には「与謝ノ大山」「与謝大山」「大山」「大江山」「千丈嶽」「御嶽」などと書かれていますが、江戸時代の『西北紀行』や『秋山の記』では「大江山」となっています。

この山には三つの伝説があり、一つは崇神天皇の弟にあたる日子坐王(ひこいますのきみ)の土蜘蛛退治伝説であり、もう一つは用明天皇の第三皇子麻呂子親王の鬼退治伝説であり、残り一つは御伽草子「酒吞童子」で知られる源頼光の鬼退治伝説です。これらの伝説にまつわる伝承地は今でも数多く残されています。

その中でも酒吞童子伝説は、源頼光の鬼退治の話として広く知られ、現在残っている書物や絵画は室町時代以降のものでありますが、それ以前から物語は存在したと考えられています。

その原形は、源頼光や「四天王」と呼ばれる家臣らが山賊を退治したという物語に、大江山にいた山賊の話が結び付いたものとされ、酒吞童子伝説が一般に広まった江戸時代においては、渡辺綱による羅生門の鬼退治や坂田金時の金太郎伝説と共に、さまざまな形で文芸作品や錦絵の題材として取り上げられ、初期の伝説は、酒吞童子の住处によって伊吹山系と大江山系の二系統に分けられますが、次第に大江山へ統一されていきました。

高校卒業までの過ごしている時はあまりにも近くにあり、興味を持つこともあまりありませんでしたが、離れて過ごし歳を重ねていく中で、住む場所としてではなく一つの景勝地、伝説の里として見ることにより、また、新たな故郷が発見できました。



(事務局 尾関 宏重 / 執筆 9月10日)

今月・来月の催し

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、10 月末までの下記イベントを中止または延期させていただくことになりました。

楽しみにして下さっていた皆様には大変申し訳ありませんが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

・10 月 12 日（月）
相愛大学連携コンサート

・11 月 11 日（水）
万代・夢寄席

・11 月 17 日（火）
リウマチ教室



【森ノ宮医療大学×大阪急性期・総合医療センター連携事業

2020 年度 第 1 回 通算第 25 回 市民公開講座「フレイル予防で健康長寿」

日 時 10 月 25 日（日） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分（午後 1 時受付開始）

場 所 森ノ宮医療大学 東棟 1 階 コスモホール
（大阪メトロ中央線コスモスクエア駅②番出口 徒歩 1 分）

内 容 ・フレイル予防で健康長寿

大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学講師 杉本 研 氏

・フレイルとリハビリテーション

森ノ宮医療大学保健医療学部理学療法学科助教 杉本 圭 氏

・フレイルと看護

森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科教授 南部 登志江 氏

・高齢者と薬 ～「くすり」と正しく付き合っていますか～

大阪急性期・総合医療センター薬局長 坂上 嘉浩

参加費 無料（マスクの着用等、感染症の拡大防止にご協力願います）

定 員 事前申込が必要です（問い合わせ先：森ノ宮医療大学 06-6616-6911）

※ 今後開催予定のイベントにつきましても、新型コロナウイルス感染が終息するまで、中止・延期とさせていただきます。なお、再開が決まりましたら当センターホームページ等でお知らせいたします。

※ 感染防止のため、当センターにお越しの際は手洗い・うがいの上、マスク着用必須でお願いいたします。

～ちょっとおいしい話～



食欲の秋、食べ物がおいしい季節ですね。簡単にできる『魚ときのこのホイル焼』を紹介します。

《材料》	(1 人分)	(2 人分)
魚（鯛・鮭など）	1 切れ 80 g	2 切れ 160 g
A { 塩	0.5 g	1.0 g
料理酒	小さじ 1/2 杯	小さじ 1 杯
えのき	20 g	20 g
しめじ	10 g	20 g
玉ねぎ	20 g	40 g
B { 濃口しょうゆ	小さじ 1/2 杯	小さじ 1 杯
みりん	小さじ 1/2 杯	小さじ 1 杯

(1 人分) エネルギー：118kcal たんぱく質：18.0g 脂質 5.2g 食塩相当量：1.1g

- ① 魚に **A** で下味をつけます。
- ② えのき、しめじは食べやすい大きさに切り、玉ねぎはスライスします。
- ③ ホイルに、①②をのせ、**B** で味付けし、オーブン（オーブントースター）で 20 分程度加熱したら、できあがり！



きのこは、低エネルギーで、食物繊維も豊富な食材です。便秘の予防や血糖値の上昇を緩やかにし、血液中のコレステロールを下げる働きがあります。

塩・しょうゆ・みりんを入れず、調理後にポン酢でお召し上がりいただければ、塩分を減らすことができます。是非、お試しください！

管理栄養士 山根泰子

今月のきりりさん

自分の持ち味を生かした看護、すなわち“きりりと光る看護”を行っている当センターの看護師さんを紹介させていただくコーナーです。

11 階西病棟 南 裕恵

中央館 11 階西病棟と南館 2 階にある内視鏡室は 2 部署を一体化運用しています。看護スタッフは看護師 38 名、内視鏡洗浄員を含めた看護補助者 10 名で行っています。2 年前に新築された南館の内視鏡室は全 8 室あり、広い回復室で十分休息できるスペースが確保されており、日帰り検査にも対応しています。

内視鏡室では 1 日 50 件近くの検査・治療が行われます。検査では上部・下部消化管内視鏡検査、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）が主流で年々 ERCP 件数は増加しています。治療では上部・下部の内視鏡的粘膜切除術（EMR）や内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）をはじめ、内視鏡的総胆管結石除去術や内視鏡的胆管ステント・膵管ステント留置術、内視鏡的止血術など多岐に渡る治療を医師、内視鏡技師、放射線技師、看護師の多職種チームで力を合わせ、患者さんに安全で安心して内視鏡を受けていただく取り組みをしています。病棟・内視鏡室との一体化運用のため、入院時に担当した看護師が次の日内視鏡室での担当となることもあり、患者さんには顔なじみの看護師がいることで安心していただける環境となっています。

そのうえ内視鏡治療は患者さんへの侵襲も少なく、入院期間も短いため、QOL を保ち通常の日常生活に戻ることができるように支援しています。今年は「カンファレンスを深掘り！」を合い言葉に昼 30 分間の濃密カンファレンスをめざしています。退院支援では医療ソーシャルワーカー（MSW）とともに今後の療養先の選択や在宅での支援者・支援方法などを患者さん・ご家族の意見を汲み入れて検討しています。

また、肝臓に対する経皮的ラジオ波焼灼療法や経皮的エタノール注入療法などの特殊治療は 11 階西病棟で行われます。残念ながら新型コロナウイルス感染拡大予防のため今年度は開催が中止となりましたが、年 1 回テーマを決め（昨年度は「脂肪肝と肥満の怖いお話」）医師・薬剤師・管理栄養士・看護師などにより肝臓病教室を開催しています。通院患者さんや地域にお住まいのみなさまを対象にもっと肝臓について知っていただく機会を設け毎年好評を得ています。

診断目的の初めて入院の方、定期的な治療を必要としている方、緊急治療を要する方など全ての方に満足していただけるように病床管理を行い、日々笑顔で看護を行っています。



【～A I 体表検知カメラの設置のお知らせ～】

当センターでは、A I 体表検知カメラを正面玄関からアトリウム、夜間通用口付近、南館入口付近に設置し、検温やマスク着用のセルフチェックをお願いしています。

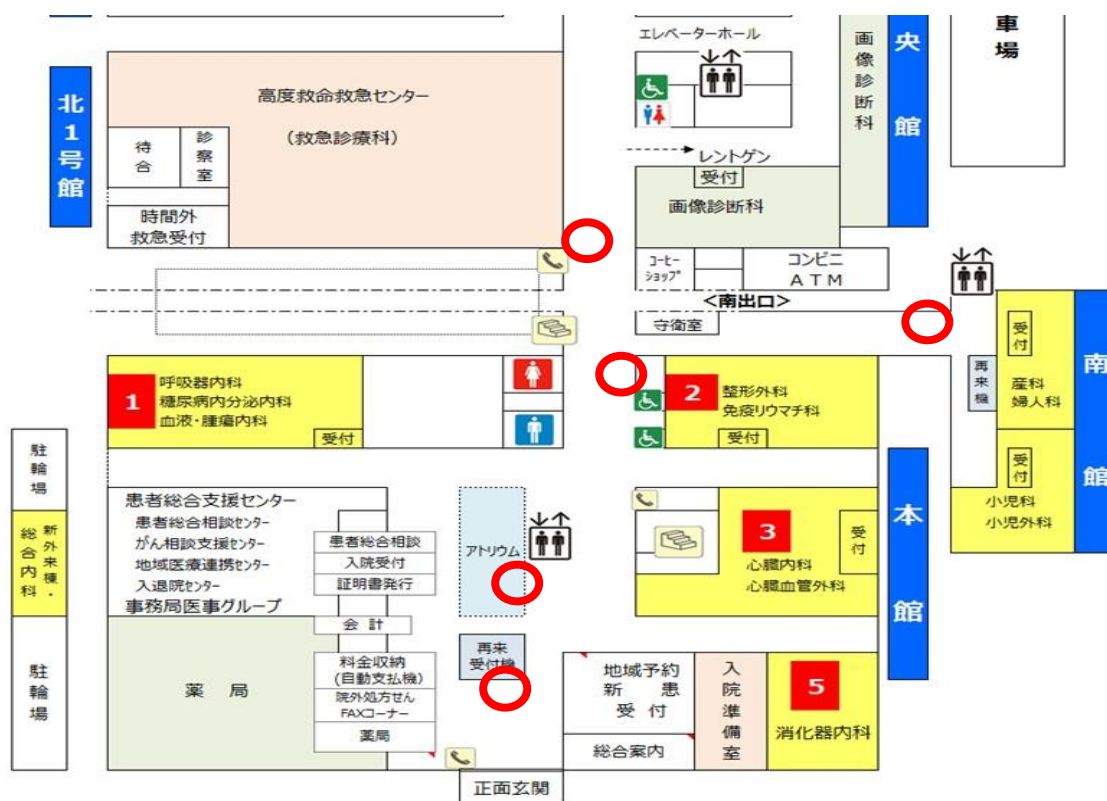
感染症対策の啓発と予防を行うもので、マスク着用の有無を察知して、着用を促すとともに、非接触により体温を即時に検知し、体温の正常と異常をアラームでお知らせします。

新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザ等の対策にも役立つことを期待しています。

是非、ご活用ください。



A I 体表検知カメラの設置場所



掲 示 板

【～北側通路一時閉鎖のお知らせ～】

(仮称) 大阪コロナ重症センター建設に伴い、9月28日(月)から当面の間、平日昼間について北側通路を閉鎖致します。閉鎖に伴い、北側通路からのご入館ができなくなります。ご迷惑をおかけいたしますが、正面玄関・時間外出入口(南側)をご利用ください。

(閉鎖時間帯) 平日 午前9時 ～ 午後5時

なお、リハビリテーション科外来・障がい者歯科・大阪府立障がい者自立センター・障がい者自立支援センターご利用の方は、建物専用出入口からこれまで通り入出館可能です。

【～北側駐車場閉鎖のお知らせ～】

8月17日(月)から当面の間、北側駐車場を閉鎖しています。

ご不便をおかけいたしますが、ご来院の際は公共交通機関をご利用いただくか、南側駐車場をご利用ください。

【～障がい者用駐車スペースの増設について～】

北側駐車場の閉鎖に伴い、南側平面駐車場に障がい者用駐車スペースを新たに5台増設し、8台駐車可能となっています。立体駐車場1階の3台分と併せて合計11台ご利用可能です。

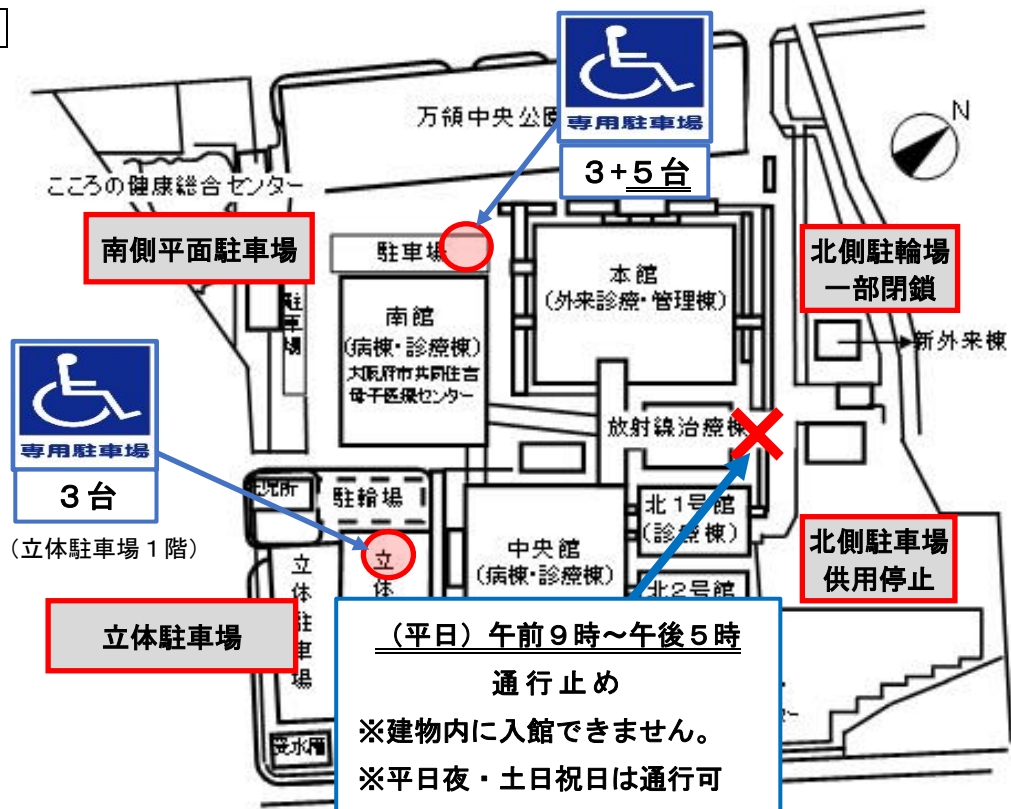
本駐車スペースは、車椅子ご利用等乗降にスペースを必要とする方のために確保しておりますので、一般の方の駐車はご遠慮ください。

【～北側駐輪場一部閉鎖について～】

9月9日(水)から、北側駐輪場(7番・8番)を閉鎖・撤去致しました。

ご不便をおかけいたしますが、代替駐輪場をご利用ください。

【敷地内図面】



【駐車料金について】

当センターの駐車場は有料となっています。

- ご利用時間：24時間（北側駐車場は閉鎖しています。）
- 駐車料金：1時間につき300円

次のいずれかに該当する方は、駐車料金が「割引」又は「無料」になります。
該当する方は、必ず院内の所定の場所で「割引手続き」をお済ませください。
なお、駐車料金の精算は「事前精算機」をご利用ください。

【割引手続実施場所】

〈病院ご来院の方〉

- 平日（9時～17時30分）
 - ・総合案内
 - ・本館、南館及び障がい者・医療リハビリテーションセンターの会計窓口（会計時に限る）
- 土日祝及び夜間（17時～翌朝9時）
 - ・守衛室
 - ・救急外来窓口（会計時に限る）

〈障がい者自立相談支援センターご利用の方〉

〈障がい者自立センターご利用の方〉

- ・各センター事務所（利用時に限る）

【病状説明（インフォームド・コンセント）等の実施時間について】

医師をはじめとする病院職員の長時間労働が社会問題となっており、厚生労働省から全ての医療機関に対し、労働時間短縮に向けた取り組みが求められています。

そのため、当センターでは、提供する医療の質や安全を維持しつつ、「働き方改革」の趣旨に基づき、職員の労働時間短縮に向けた取り組みの一つとして、緊急でない患者の病状説明（インフォームド・コンセント）等は、原則、平日の診療時間内に行うことにしております。なお、診療上、主治医が判断した場合は、この限りではありません。

より良い医療を提供するため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【自然災害などによる診療状況変更等のお知らせ】

自然災害など不測の事態の際は、診療の状況等の重要なお知らせをホームページで行う場合がありますので、適宜、ご確認ください。



【ボランティア活動のお知らせ】

当センターでは、「採血室受付」や「入院時病棟案内および外来患者移動支援」を中心に、毎日ボランティアが活動しています。また、看護学生や保育学生による話し相手や遊び相手のボランティアや、リハビリ病棟の長期入院患者さんを対象に、ハンドマッサージ（大阪府鍼灸マッサージ師会の協力）や理髪ボランティア（近隣理髪店の協力）、ピアサポート（年3回）を実施しています。

また、認定NPO法人日本クリニクラウン協会から、小児科病棟（大阪府市共同 住吉母子医療センター）にクリニクラウンの訪問を受けました。入院中の子どもさんやご家族に丁寧なかかわりをもって一人一人の変化をつかみ、心を和ませていただき、癒しのひとときを過ごしました。

これらの活動状況は、当センターホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、ボランティア活動は休止しています。再開の目途が立ちましたらホームページでご案内させていただきます。

(URL) <http://www.gh.opho.jp/recruit/10.html>

【医療費のお支払いについて】

当センターでは、お支払いに、現金の他、以下のクレジットカードをお使いいただけます。

また、デビット付きキャッシュカードでのお支払いの場合、引き落としの手数料は不要です。ご利用の場合は「会計窓口」へお申し出ください。



VIZA カード



Master カード



JCB カード



アメリカン
エクスプレス



DC カード



ジェイデビット



MUFG カード



Nicos カード



UFJ カード

【「医療相談」コールセンターのご利用を ～地域医療連携センター～】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談に、看護師が電話で応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号	06-6692-2800	(専用電話回線)
	06-6692-2801	(専用電話回線)
相談日時	月曜日～金曜日	午前9時～午後5時
	(年末年始、土・日・祝日除く)	
相談対象	医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等	
相談員	看護師	



【診察予約変更センター9 診療科において、診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意くださいようお願いいたします。

電話番号 06-6692-1201 (代表) にダイヤルして

「予約変更センター」と言ってください。

受付時間 午後2時～午後4時(平日のみ) ※6月1日から変更しました。

対象診療科 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病内分泌内科
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科 脳神経内科
脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科



【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターでは、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用、患者総合相談窓口でCT、MRI、RI、エコー検査など検査の概算費用をお知らせするサービスを行っていますので、お問い合わせください。

【情報誌「きらり」を発行しています】

大阪府市共同 住吉母子医療センターの情報誌「きらり」を、年に3回（4、8、12月）発行しております。これからママになる方への情報や、子育てに関するフシギを医療機関ならではの目線で様々な情報を発信しております。きらり本誌では、医師や看護師に聞いてみたい子育てに関する質問も募集しております！ぜひご覧ください。

また、当センターホームページでバックナンバーもご覧いただけます。

右記QRコードよりアクセスお待ちしております！

バックナンバーはこちら

(URL) <http://www.gh.opho.jp/hospital/24.html>

情報誌「きらり」



【Facebook ページ開設のお知らせ】

当センターでは、公式Facebook ページを開設しております。Facebook のアカウントをお持ちでない方でも、ご覧いただけます。

(URL) <https://www.facebook.com/osakageneralmedicalcenter>

※スマートフォンでご覧になる場合は、右のQRコードをご利用ください。

Facebook



【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」はメルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪急性期・総合医療センター」にて可能です。

今月の風景



【コメント】

あべのハルカスより市内を臨む

『全日本タワー協議会』では、「展望」の『展(てん)』を ten(テン)=10 に、『望』を棒=1(棒に例えて)に置き換え、2006 年以降、10 月 1 日を「展望の日」として制定しています。

編集部局より

<お願い>

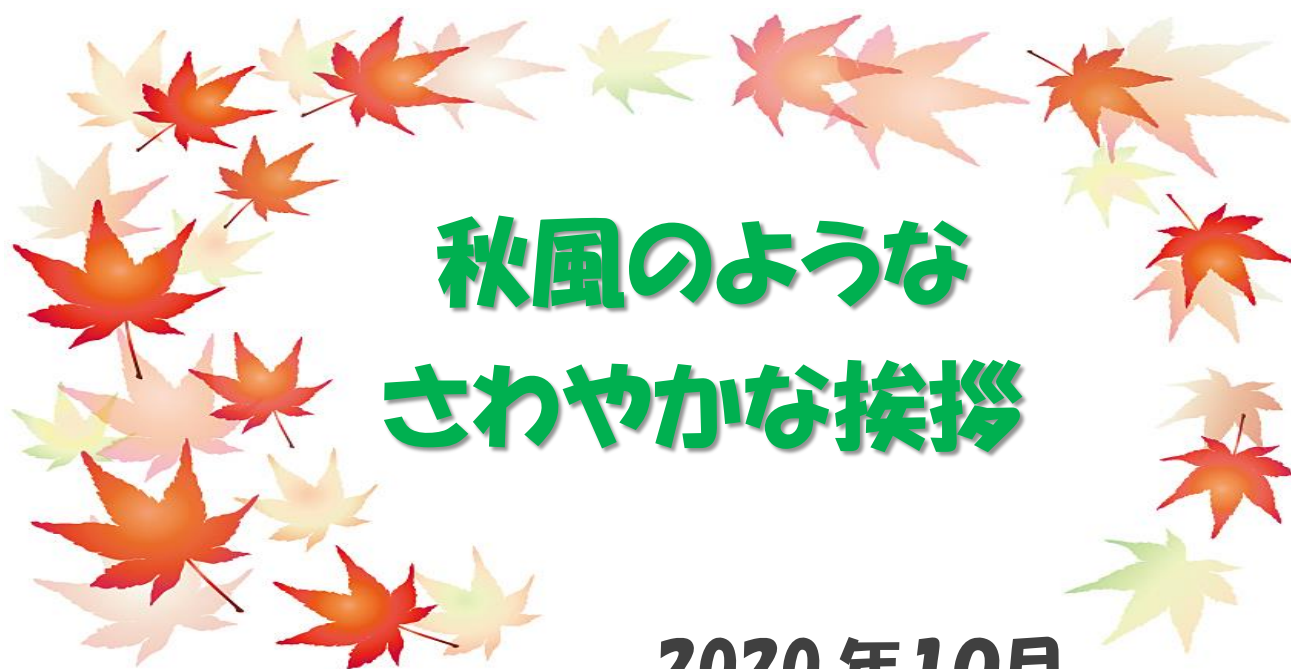
読者の皆様からも、今後の表紙と「今月の風景」を飾る写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただける方は下記宛先までお送りください。

【宛先】 kyuseisogo@opho.jp

【注意事項】

- ・ 投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。
- ・ タイトル、撮影日時、場所についてのコメントをメール本文に記載ください。
- ・ 作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限ります。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

大阪急性期・総合医療センター 医療サービス改善委員会